

館林市環境審議会答申書

「第三次館林市環境基本計画～令和3年度結果報告書～」について

令和4年11月16日

館 林 市 環 境 審 議 会

環境審議会における意見

令和4年度第2回館林市環境審議会にて、第三次館林市環境基本計画の令和3年度結果報告を行いました。委員より以下の意見がありました。

日 時 令和4年7月26日（火）午後1時30分～

場 所 館林市庁舎5階501会議室

出席者 環境審議会委員 8名

事務局 8名

〈委員からの意見〉

○基本目標2について

- ・水、空気は環境にとって大切であり、大切と思っても、中身と行動の段階になると多くの人にとって他人事になってしまうかもしれない。原因と対策を明確にし、もっと市民にわかりやすく訴えかけることが必要と考える。

○基本目標4について

- ・再エネ(再生可能エネルギー)／低炭素型設備機器等の記載は、難しい内容と受けとめられがちと思われるので、やさしい表記と具体例を市民に提示することにより、取り組み意識が増すのではないかと考える。
- ・近所のゴミの出し方をみてもルール違反が多い。分別の不徹底が排出量、資源化率の悪化につながっている。各コミュニティに働きかけ、ゴミの分別も周知していくべきと考える。

○その他

- ・報告の中に「基本目標及び行動目標の評価」、「関係各課における行政施策の評価」の記載があるが、それぞれの評価に対しての次年度に向けての改善内容・今後の方針等を併せて記載してはどうか。計画の進行管理のPDCAサイクルにおいて、①計画(PPLAN)・②実行(DO)・③点検・評価(CHECK)・④改善(ACT)のとおり、「点検・評価」のあとは、「改善」となっている。